

## 「美術科」学習の仕方

### 1. 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

### 2. 本校での学習の特徴

- 身近なものを題材に用い、新たな見方や発見を通して、その良さや美しさに関心を持ち、楽しく表現や鑑賞の活動に取り組めるようにします。
- 日常生活に生かせる美術の学習を心掛け、創造活動の喜びを味わい、生活の中で美術を愛好していく力を養います。
- 段階を踏んで、視覚的に作品のつくり方を示すことで、自分らしく心豊かに発想、構想する能力の向上を目指します。

### 3. 家庭学習

- 作品制作では見通しをもって計画的に作業し、予定通り完成できるよう、自主的に取り組みましょう。
- 制作した作品を大切に扱い、生活の中に取り入れていきましょう。
- 必要に応じて、材料、道具、資料を準備しましょう。

### 4. 評価にかかわって

#### (1) 知識・技能

表現の技能を身につけ、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表しているかを評価する。

#### (2) 思考・判断・表現

感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をしているかを評価する。

#### (3) 主体的に学習に取り組む態度

主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、感性や想像力を働かせて、よさや美しさを感じ取り味わったり、理解しているかを評価する。

#### 観点別評価の方法

##### (1) (2) について

授業観察、完成作品、アイデアスケッチ等、作品の進行状況、定期試験

##### (3) について

授業に取り組む姿勢、発表、提出物

5. 年間指導計画

	1年(45時間)	2年(35時間)	3年(35時間)
一 学 期	<p>◆うつくしい!(1h) *日常生活や美術の学習の中で、自分なりの美しさを見つけたり感じたりすることの大切さを感じ取る。</p> <p>◆美術って何だろう?美術で学ぶこと(1h) *小学校の「図画工作科」の学習とのつながりや、「美術科」で大切にしてほしいことなどを考え、美術のもつさまざまな意義について考え、美術に対する自分の見方、考え方をもち、</p> <p>◆見つめ、感じ取り、描く(2h) *身近なものを見つめ、感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考え、材料や用具を工夫して描く。</p> <p>◆文字で楽しく伝える(4h) *伝える相手と内容を考えて発想を広げ、形や色を工夫して文字をデザインする。(9h)</p> <p>◆美術鑑賞を楽しむ手掛かり(1h) *作品を鑑賞し、描かれている人物や場面などを想像したり、鑑賞を広げる言葉を知ってより学びを深める。</p> <p>◆絵から物語をつむぐ(2h) *作品を鑑賞し、描かれている人物や状況から、自分なりの物語を想像する。</p>	<p>◆レオナルドとその時代(2h) *作者や作品の背景をもとに、新たな創造を自覚した作者の表現の意図や工夫を感じ取る。</p> <p>◆空想の世界へようこそ(3h) *現実にはない不思議なことに想像を膨らませ、表現方法を工夫して空想の世界をあらわす。</p> <p>◆あれ?どうなっているの(4h) *形や色のトリックを使ってアイデアを練り、表現を工夫して作品にあらわす。</p>	<p>◆中学校美術、最後の時間に(2h) *描かれている人物と自分を重ね合わせ、自分の進もうとする道に思いを馳せる。</p> <p>◆ゲルニカ、明日への願い(1h) *「ゲルニカ」の線や筆の跡から、感じたことを言葉で表現し、意見を交換し考えを深めたり共有したりする。</p> <p>◆墨の世界を体感しよう(2h) *水の量や筆の使い方、にじみやぼかしなどの墨の濃淡や筆づかいの効果を生かして表現する。</p> <p>◆見方を変えて(4h) *遠近や角度、拡大や縮小など、自分の身の回りの世界の新しい見方を工夫して表現する。</p> <p>◆浮世絵から学ぶ江戸の職人技(2h) *浮世絵制作の過程とそれを支えた分業の仕組みについて知り、伝統文化に対する理解を深める。</p>
二 学 期	<p>◆心ひかれるこの風景(5h) *自分が心ひかれる風景を見つけ、そのときの気持ちなどをどのようにあらわすか考えて、工夫して描く。</p> <p>◆人のしぐさを捉える(4h) *身近な人のしぐさからその人の雰囲気や感情を感じ取り、クロッキーなどであらわす。</p> <p>◆形や材料を比べてみよう(1h) *さまざまなカップを鑑賞して、使う場面や目的による材料や用具の違いを感じ取る。</p> <p>◆木を楽しむ暮らし(9h) *木の特徴を理解し、用途や機能、使う人の気持ちを考えて作品をつくる。</p>	<p>◆メッセージを伝える(2h) *多くの人にメッセージが伝わるように、絵や文字などの組み合わせを考え、工夫してデザインする。</p> <p>◆北斎からゴッホへ(2h) *共同制作を通して、全体と部分の関係や展示する場所との調和などを、形や色彩の観点から考える。</p> <p>◆形と色の挑戦(3h) *自分の感情や思いから発想を広げ、形と色を工夫して作品にあらわす。</p> <p>◆季節感のある暮らしを楽しむ(4h) *四季折々の動植物や天候などをもとに発想を広げ、形や色を工夫してデザインする。</p> <p>◆躍動感を捉える(4h) *人の動きに着目させ、生命感や躍動感をあらわす形の捉え方や、省略や強調など動きをより効果的にあらわす工夫をする。</p>	<p>◆原寸大で鑑賞しよう鳥獣花木図屏風(2h) *作者の意図と創造的な表現の工夫を感じ取りながら見方を深め、美術文化への関心を高める。</p> <p>◆絵巻物を楽しむ(1h) *絵巻物の基礎知識を理解し、現代の漫画表現との共通点を発見し、絵巻物や掛け軸の扱い方を学ぶ。</p> <p>◆情報を整理して伝える(2h) *情報デザインの効果や条件などについて学び、ピクトグラムや、美しくわかりやすい絵グラフなどをデザインする。</p> <p>◆暮らしの中のキャラクター(4h) *キャラクターの優れた例から、親しまれるデザインの発想や伝えたいメッセージの表現、利用のされ方などを学ぶ。</p> <p>◆自画像、今を生きるあなたへ(6h) *現在や未来の自分をテーマに作品を作り、作品に対する思いを言葉で伝え合う。</p>
三 学 期	<p>◆世界の仮面と出会う(1h) *世界各国の仮面を鑑賞して、色や形、材料などの造形的な共通点や違いを感じ取る。</p> <p>◆風神雷神 - 受け継がれる日本の美(2h) *木の素材がもつ優れた特質を、視覚や触覚、嗅覚などを通して深く味わい、木に適した加工方法の基本を学びながら、身近な生活の中で使う物をつくる。</p> <p>◆生活をいろいろ文様(7h) *自然や日用品から発想を広げ、形や色を工夫して文様をつくる。また、日本や諸外国の文様を鑑賞し、表現の工夫や文様に込められた願い、生活との関わりなどを感じ取る。</p>	<p>◆思い出を形に(4h) *思い出の風景に、自分の感じたことをどう重ねてあらわすかを考え、表現方法を工夫して描く。</p> <p>◆わかりやすく情報を伝える(5h) *何を伝えるかを考えて形や色を工夫し、見る人にわかりやすいようにデザインする。</p> <p>◆さまざまな椅子のデザイン(2h) *さまざまな椅子を鑑賞し、形や色、材料が、座る人のことを考えてどのように工夫されているか感じ取る。</p>	<p>◆みんなのためのデザイン(2h) *多くの人々が快適に使えるデザインの特徴について考える。</p> <p>◆パッケージをデザインする(2h) *パッケージデザインの条件や可能性を学び、パッケージをデザインする。</p> <p>◆暮らしやすい町作り(1h) *人間らしく、豊かな心で、自然との調和も考えながら暮らすための都市や環境のデザインについて学ぶ。</p> <p>◆環境とともに生きる造形(4h) *公共空間に設置された作品の例から、作品を置く場所と作品との関係をイメージしながらスケッチや立体作品などにあらわす。</p>